

内閣府アンケート調査について

1 調査目的

生命科学技術に対する国民一般の関心を、期待観や倫理等の観点から把握するとともに、とりわけヒト胚の研究利用について国民一般の意識を把握し、今後の生命科学技術のあり方を検討するための資料とする。

2 調査対象等

- (1) 調査対象；日本国内に居住する20歳以上の男女 4,000名
- (2) サンプルング；住民基本台帳から無作為抽出

3 調査方法

質問紙による郵送返送法
葉書による督促を1回実施

4 調査実施時期

平成14年2月

5 調査内容（質問事項のイメージ）

- ・ 生命科学技術の動向への関心について
- ・ ヒトの受精から誕生まで、いつの時点から絶対に侵してはならない存在になるかということについて
- ・ 余剰胚を研究等に利用すること（研究の結果、胚を壊すことを含む）について
- ・ 研究のために新たに卵子と精子の受精により胚を作成することについて
- ・ クローン胚を作成すること（ただし、クローン人間は絶対に作成しないものとする）について
- ・ 合意を形成をするための方策について